

# 講演：『イカナゴはなぜ減ってきたのか ～そのシナリオについて～』 (第87回月例会)

瀬戸内海における生物の多様性及び生産性の確保を目的として、令和3年6月に「瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律」が可決成立しました。これにより、従来の栄養塩類の削減に関する規定に加えて、栄養塩の管理（周辺環境の保全と調和した形での特定の海域への栄養塩類供給）を可能とする規定が設けられました。

今回は、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センターが2015～2019年度（5カ年）に実施した「豊かな瀬戸内海再生調査事業」において、海域環境及び生物のモニタリング並びに解析を行うとともに、大阪湾・播磨灘イカナゴ生活史モデルを開発し、過去の環境（栄養塩、水温）を想定したシミュレーションを行って、海域の貧栄養化がイカナゴ資源の長期的減少の要因であることを究明された反田 實氏から、瀬戸内海の海域環境と漁業資源の現状について講演していただきます。

## ■講師

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター  
技術参与 反田 實（たんだみのる）氏

## ■開催日時

令和4年1月20日（木）15:00～16:00頃まで

## ■開催場所

神戸市勤労会館 2階 多目的ホール

神戸市中央区雲井通5丁目1-2 電話 078(232)1881



## ■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会（担当：渡川又は藤原）  
電話 078(332)2035

**入場無料（定員40名）**

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対策といたしましてマスクの御着用をお願いいたします。